








条例改正のポイント

-  **Point 1** 条例改正市民案が先行してつくられ、それを尊重する形で改正
-  **Point 2** 多様な主体が地域の当事者として、協働して地域の社会課題解決を進めることで、豊かで活力ある持続可能な地域社会をつくることを目的とし、市を含む多様な主体の役割を規定
-  **Point 3** 協働の理念と原則を規定
【相互理解、目的共有、対等、自主性・自立性の尊重、公開】
-  **Point 4** 地域の協働の拠点機能の強化、協働の主体の育成、情報共有・交流機会の提供、協働モデル事業の指定、表彰など支援策・促進策を具体的に規定
-  **Point 5** コーディネート機関、市への提案制度、協働フォーラムなど、多様な主体が協働推進施策に参画することを保障。
-  **Point 6** 市の各課に協働推進員を配置し、「協働の視点」で施策の見直しを進めるため庁内の推進本部体制を規定
-  **Point 7** 多様な主体による協働推進委員会（審議会）を設置し、協働推進計画等を審議・検証